



より良いモノづくりのために 繊維製品の事故事例



モノづくりにおいて生地性能確認や縫製については様々な注意ポイントなどがあります。
そこで縫製や生地強度に関する「よくあるトラブル」をシリーズでご紹介します！

《今回のテーマ》

摩耗



現象

仕事で車の運転の時に着用していた所、尻部分のストライプの柄糸が消失した。



原因



着用時において局部的に摩耗作用を繰り返し受けたことにより、ストライプ部分の柄糸が擦り切れた。

柄糸のキュプラは、摩耗に弱い繊維であり、乾燥状態よりも湿潤状態でより強度が弱くなるため、着用時の汗などの影響により強度が弱くなっていた可能性が考えられる。



対策

事前検査により生地性能をチェックする。(摩耗強さ等)用途に適した素材を使用する。



試験 内容

繊維鑑別をしてみたよ

たて糸	黒	ポリエステル
	柄糸	キュプラ
よこ糸	黒	ポリエステル

ストライプ部分の柄糸は
キュプラだケン！

マイクロスコープで拡大観察してみよう



正常部



事故部

再現試験をしてみよう

【摩耗強さ JIS L 1096 E法 マーチンデール法準用】

<乾燥状態>

<湿潤状態>

	乾燥状態	湿潤状態
ストライプ部分の糸切れ	4000回	100回
ストライプ部分完全消失	16000回	600回



16000回

事故部と類似



600回

事故部と類似



上記の内容についてご不明な点等ございましたらお近くのボーケンまでお気軽にお問い合わせください

公式インスタグラム

■ 東京試験センター ☎ 03-5669-1380
〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目12番1号

■ 大阪試験センター ☎ 06-6577-0200
〒552-0021 大阪市港区築港1丁目6番24号

■ 名古屋試験センター ☎ 052-231-0861
〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目25番15号

■ 岡山試験センター ☎ 086-231-2700
〒700-0936 岡山市北区富田422-1

